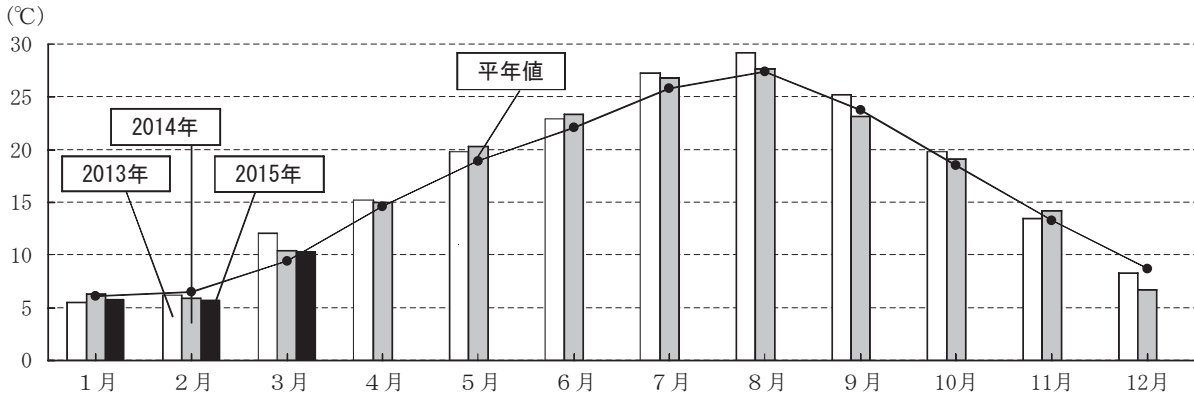
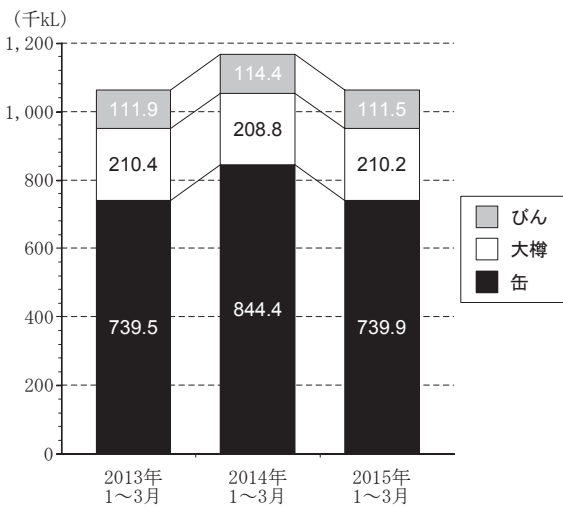




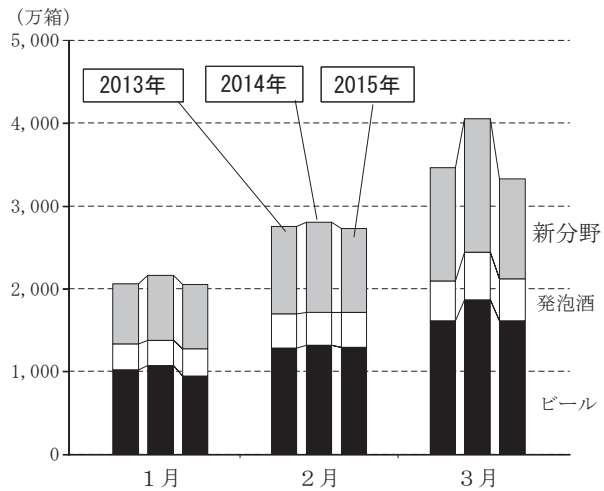
今月の統計



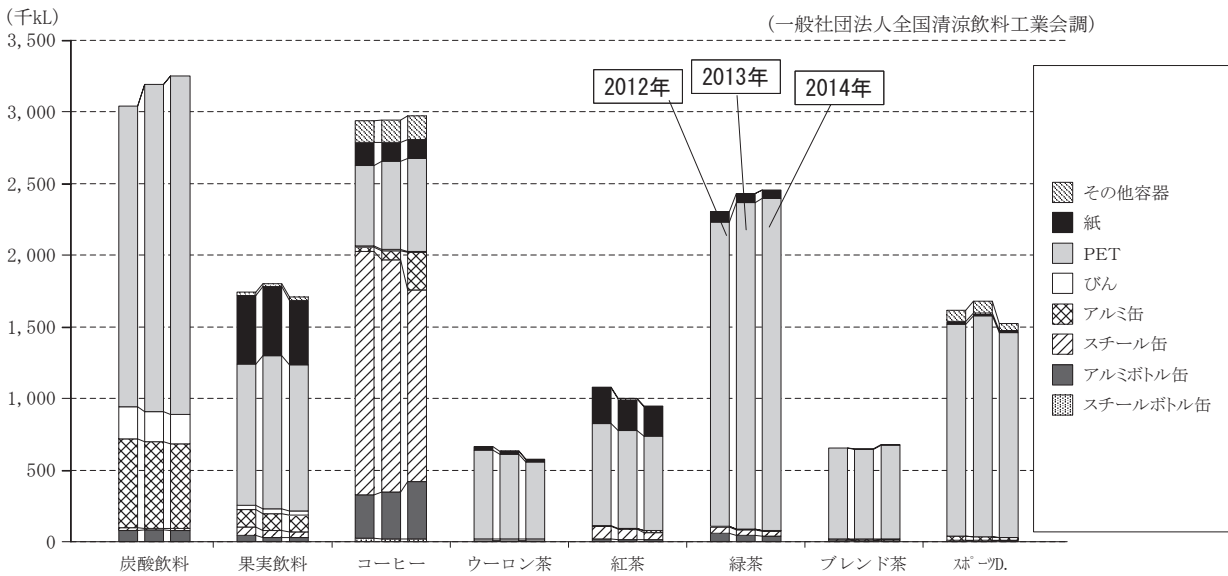
第1図 平均気温の推移(1~12月・東京)



第2図 ビール類の容器別課税数量推移



第3図 ビール・発泡酒・新分野別販売数量推移(4社計)



第4図 清涼飲料の品種別容器別生産対比



第1表

2015年(1~3月)ビール・発泡酒・新分野別課税数量の前年比・構成比, 容量ベース

	容器別(%)					ビール・発泡酒・新分野別(%)			
	合計	缶	大樽	ビン		合計	ビール	発泡酒	新分野
前年比	90.9	89.3	97.0	91.2	前年比	90.9	91.3	100.4	87.0
構成比	100.0	70.1	20.1	9.8	構成比	100.0	47.4	15.7	36.9
前年構成比	100.0	71.4	18.8	9.8	前年構成比	100.0	47.2	14.2	38.6

2015年はビール類合計で前年比約10%減となった。これは昨年同期に消費税増税前の駆け込み需要があった反動で、ほぼ一昨年なみに戻った。

第2表 容器入り清涼飲料生産量の推移

	2012年		2013年		2014年	
	生産量(kL)	前年比(%)	生産量(kL)	前年比(%)	生産量(kL)	前年比(%)
炭酸飲料	3,042,258	97	3,191,872	105	3,251,509	102
果実飲料等	1,742,116	115	1,803,455	104	1,711,174	95
コーヒー飲料等	2,939,932	102	2,945,479	100	2,970,685	101
茶系飲料	5,309,990	103	5,373,117	101	5,370,676	100
ミネラルウォーター類	2,788,000	108	2,865,300	103	2,917,400	102
豆乳類等	263,000	114	272,500	104	288,200	106
野菜飲料	564,100	111	576,300	102	564,180	98
スポーツ・機能性飲料	1,616,671	99	1,677,464	104	1,521,523	91
その他飲料	773,284	101	773,902	100	753,974	97
総計	19,039,351	104	19,479,389	102	19,349,321	99

容器入り清涼飲料は豆乳(前年比106%)の健闘が目立ち、炭酸、ミネラルウォーターは堅調。逆に果実飲料とスポーツ・機能性飲料は落ち込みが大きい。

第3表 平均気温, 降水量, 日照時間

(4月中旬まで・東京)

	平均気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(h)			
		平年差	前年差		平年比(%)	前年比(%)		平年比(%)	前年比(%)	
2014年 4月	月間	15.0	+0.4	-0.2	155.0	124	156	218.3	124	111
5月	月間	20.3	+1.4	+0.5	135.5	98	242	236.5	137	104
6月	月間	23.4	+1.3	+0.5	311.0	185	196	143.0	116	115
7月	月間	26.8	+1.0	-0.5	105.5	69	91	175.6	122	107
8月	月間	27.7	+0.3	-1.5	105.0	62	106	180.9	103	86
9月	月間	23.2	-0.6	-2.0	155.5	74	67	145.8	124	89
10月	月間	19.1	+0.6	-0.7	384.5	194	87	135.2	101	122
11月	月間	14.2	+0.9	+0.7	98.5	106	379	134.8	92	76
12月	月間	6.7	-2.0	-1.6	82.0	161	138	185.2	106	102
2015年 1月	月間	5.8	-0.3	-0.5	92.5	177	378	182.0	97	89
2月	月間	5.7	-0.8	-0.2	62.0	111	39	166.9	100	119
3月	下旬	12.2	+1.7	-1.9	0.0	-	-	101.5	188	121
	月間	10.3	+0.9	-0.1	94.0	80	83	194.2	119	95
4月	月上旬	11.2	-1.7	-2.5	43.5	104	39	27.7	48	37
	中旬	14.0	-0.6	-0.3	82.5	188	8250	44.6	83	58